

# 軽井沢町庁舎整備計画を皆で考える会

改めて立ち止まり住民と議論する場を求める署名のお願い

を守る会

軽井沢の自然景観を守る会 庁舎見直しを検討する有志

## 【私たちのスタンス】

私たちは、老朽化した庁舎の建て替えを否定するものではありません。  
しかし安心して暮らせる軽井沢を守り、将来世代に過重な負担を残さないため  
一旦立ち止まり庁舎改築計画を見直したいという想いから活動しています。

現在進められている庁舎改築周辺整備事業は  
総事業費が今や124億円です。人口約2万人の  
町にとって50年に一度の大事業であり、現計  
画は町民一人あたりの負担額が62万円（4人  
家族で1世帯250万円）とあまりに過大です。

# 総事業費 124億円

# 町民1人あたり 62万円



### 極めて高い事業費負担

人口20万人の松江市は、庁舎改築費用が155億円だそうです。近隣市町と比較しても一人当たりの事業費は突出しており、数倍以上になります。



### 過大な施設とデザイン

DX推進により役場への来庁機会が減る中、吹き抜けや多角形屋根を持つ複雑な設計は、建設費だけでなく将来の維持管理コストも増大させます。



### 少子高齢化への対応

2040年には高齢化率が44%を超えると予測される中、何十年に及ぶ借金返済を抱えることは、行政サービスの低下を招きかねません。

# 124億円は氷山の一角。町の将来を縛る「隠れたリスク」が存在します。



私たちは、具体的な代替案によって事業費を大幅に削減し、住民が安心できる庁舎周辺整備事業への見直しを要望します。



## 1.現役世代（納税者）の減少

庁舎整備のために、65億5千万円の借入（30年返済）を行おうとしています。2060年には町民の2人に1人が高齢者となり、現役世代と子供が5割を切ります。30年後には15~65歳一人あたり毎年4万円近い返済額に。社会保障費が増大する中、30年続く「固定費」は将来の町の予算を縛り、教育や子育て支援を奪うことになりかねません。

## 2.「返済」より怖い「修繕+維持管理費」の増大

巨大で豪華な施設ほど、15年後、30年後により大規模な修繕が必要になります。30年後に借金の返済がようやく終わる頃、今度は十数億円単位の「大規模改修費用」が新たに発生します。30年後に負担がゼロになるわけではないのです。しかもこの二十数年間に建設された軽井沢病院、風越のスポーツ施設、旧軽駐車場、木もれ陽の里、軽井沢小学校・中学校などの諸施設が次々と大規模改修や改築の時期を迎え、それらの費用も優に400億円に迫ります。

## 3.固定資産税に大きく頼る不安定な財政

30年という長期にわたり金利や税金の変化を見通すことは困難です。65.5億円を段階的に借り入れるため、現在の想定金利が続く保証はありません。また町の財政を支えているのは固定資産税収入ですが、今後も別荘地としての軽井沢ブランドが続くかどうか、土地の乱開発や自然災害、負動産の相続問題など、不安材料が大いにあります。

# 代替案で事業費を50億円削減できたら それを住民の暮らしに大きく投資できます

## 【私たちが要望すること】

### 1 中央公民館の継続利用

借金せずとも広く快適な庁舎は建設できます。公民館の解体工事費用や心配される周辺への騒音・振動被害も生じません。公民館をリノベーションする場合でも数十億円は削減できます。そして庁舎と公民館を分棟することで、災害時の補完機能、将来不用となった場合の施設規模の縮小に対応できるメリットも生まれます。

### 2 居住支援と住環境改善

施設整備に同じ借金であるならば、地価高騰で多くの方々が軽井沢町内に住みにくい状況を改善、ハイシーズンの渋滞や自転車事故を防ぐ道路整備、倒木被害を防ぐための剪定費用補助など、何をまず解決すべきなのかの優先順位を、町に住民と共に考えてもらいます。

### 3 DXとオンライン環境の整備

住民サービスであれば、豪華なハコモノを1点をつくる代わりに、町内30区の分館のWiFi環境を整備するなど、どこからでも行政の窓口サービスにアクセスできるような態勢が望まれています。

## 見直して例えば50億円節約できれば、以下のことが可能になります



### 「住み続けられる町」へ：

町営住宅を改修, 100戸以上増設  
設備が古くなった町営住宅を健康空間へと改修しさらに新設し若い世代や福祉が必要な方の居住を支援できます



### 「移動に困らない町」へ：

無料バス10台を20年間運行  
超高齢社会において移動手段の確保は急務です。またクルマによる通学通勤の不便も解消し渋滞を招く要因も減らせます



「安全な道」へ：町内の生活道路 100kmを一新  
道路改良は住民の22.5%が今以上に行うべきと望む重要課題です



「活気ある地域」へ：自主活動に年500万円補助  
地域活動への参加意欲は40.2%と高く支援の充実が必要です

今でも高齢者の割合が高く、将来さらに支え手が減少する軽井沢町にとって、町の収入を「ハコモノのデザイン」に使うか「住民の暮らし」に使うかの選択は、まさに町の命運を分ける決断と言えます。

# 軽井沢の未来をより良くするため、あなたの声を届ける署名にご協力ください 税金の使い途を考えるのは私たち住民の責任です！

私たちは軽井沢町に、以下のことを要望します：



・現計画の規模および総事業費の再検討



・30年間の財政分析の詳細公開



・現行案と代替案（段階整備・改修案等）と第三者比較



・一般住民参加による「熟議の場」の設置

【提出先】 軽井沢町役場

【呼びかけ人】 軽井沢の自然景観を守る会 / 庁舎見直しを検討する  
有志代表 経塚 淳、小西ともえ

【連絡先】 choshaminaoshi@gmail.com

☆下記いずれかの方法で、署名をお届けください。

## 1. メールで提出（携帯利用）

QRコードで署名簿をダウンロードしてプリントし、ご記入の上、写メなどで事務局にお送りください。



## 2. メールで提出（PC利用）

ホームページにアクセスし、署名簿をダウンロードしてご記入の上、事務局にお送りください。  
(<https://choshaminaoshi.org>)



## 3. 紙の署名簿提出

下記の場所でお受け取りします（署名用紙も置いてあります）

- ・ファミリーマート（ヤオトク軽井沢店）軽井沢東195
- ・レストラン・ア・ラ・ガール 軽井沢町長倉3041中軽井沢駅前
- ・有志の会が受け取りにまいります tel: 090-1869-6031

皆様のご質問にお答えするQ&R頁がございます。また皆様のご意見をお寄せいただく頁を準備していますので、軽井沢町にとって建設的な議論の場となればと願っております。

home page ; <https://choshaminaoshi.org>

賛同者一同

